



豊玉二中だより

令和6年度 第11号
発行日 3月3日(月)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 大野 雄一郎

節目の時を迎えるにあたって

校長 大野 雄一郎

今年度も残すところあとわずかとなりました。3月は3年生があと13日間、1・2年生はあと16日間で学校に来る期間です。あとわずかですが、まとめの時期でいろいろな行事もあるので、体調管理をしっかりとしてください。

3月は、卒業式や修了式など、学校生活における大きな変化を迎える月です。卒業生の皆さんにとっては、中学校での3年間という年月が一つの区切りを迎え、新たな進路へと歩み出す時となります。1・2年生の皆さんにとっても、進級を前に、1年間の学びを振り返り、新たな目標に向かって気持ちを新たにす大切な時期です。

さて、このような時期を、「節目」と言っています。節目とは、物事が一段落し、次の段階に移る区切りのことを言います。私たちは、人生において様々な節目を経験します。入学、卒業、就職…など、その節目を迎えるたびに、喜びや不安、期待など、様々な感情が入り混じることでしょう。しかし、節目は、私たちにとって成長の機会でもあります。心機一転、新しい場所や環境で、自分を成長させよう、気持ちを新たにしようという向上心が生まれます。

節がある代表的な植物「竹」をみなさんも知っているでしょう。竹は、節があるから、まっすぐに一直線に成長していきます。節が竹を強くしているのです。作家であるアントン・チェーホフは人生を竹に見立て「大きな出来事は竹の節であり、節と節の間にある生活の連続こそが人生である」という言葉を残しました。卒業や進級といった節目の時期に、竹と同じように自分自身をさらに成長させることを期待しています。

また、3月は、別れと出会いの季節でもあります。共に過ごした仲間たち、お世話になった先生方との別れは寂しいものですが、新たな出会いも待っています。感謝の気持ちを伝え、良い思い出を胸に、次のステージへと進んでいってください。

最後に、保護者の皆様におかれましては、本年度も本校の教育活動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今後とも、本校の教育にご支援を賜りますようお願い申し上げます。